

保育園自己評価総括

(令和5年度6月次)

今年度も3ヶ月あまりが経過し、課題はありながらも職員の頑張りもあり、吉田保育園が子どもたちにとって安心できる居場所となっていることに改めて感謝いたします。

さて、職員にとっても働き甲斐のある環境の中で、子ども達に必要な保育やそれに必要な環境を整えて、課題を克服しながら業務に向かい合うことができることはとても大切なことです。その意味では、「常勤の保育士自己評価」「非常勤の保育士自己評価」と「給食従事者自己評価」のチェックリストをとおして、必要な振り返りをできたという思いです。

つきましては、職員の自己評価をふまえて、①リーダー性・モラル・園運営・組織チームワーク②子どもの発達援助・発達援助の基本・指導・調理員の要素・保護者や地域との関わりについて、保育園全体の評価という視点で次のとおり総括をします。

① リーダー性・モラル・園運営・組織チームワークに関する項目

【自己評価からの現状・課題】

○リーダー性・モラル・園運営・組織チームワークは、それぞれに相関関係にあるとおもわれるが、モラルについては普通以上の意識を持ち援助及び業務にあたっているといえることができる。

今年度においてもリーダー性や園運営については責任あるポジションにあるものほど評価が低くなる傾向にあったが、これについては園全体を見渡すなどの広い視点からの評価であったこともうかがえる。

常勤・非常勤保育士ともに報告・連絡の面、子どもを取り巻く自然環境へのかかわりについて不十分さを感じているとのことであった。

また組織チームワークの面では、園全体の仕事を支援する職場仲間とのコミュニケーションやより良い信頼関係を築くことへも昨年度に引き続き、できている(まあまあ含め)まではいたっていない。

【課題改善のための方向性】

○改めて法人・保育園の理念は勿論のこと、保育所保育士指針への理解を更に深めて、日々の業務(保育)活動に活かしていく

- 研修の充実(経験則だけでなく保育指針沿った保育の理解と法人・園の方針への理解をすすめる)
- ケーススタディーによる方向性と課題の共有をはかる

※事例研究:実際起きたことについて事例を検証し、よりよい方法を見つけていく

- 報告・連絡・相談を基本として、意思疎通を深め、コミュニケーションの良さ風とおしの良さをはかる。
- 年次有給休暇の適切な取得や適宜休憩時間を確保し、体力的にも精神的にも余裕をもって保育業務等に向かい合うことのできる職場環境を整備する。

② こどもの発達援助・発達援助の基本・指導・調理員の要素・保護者や地域との関わりに関する項目

【自己評価からの現状・課題】

今年度も評価の傾向として、こどもの発達援助・発達援助の基本・指導・調理員の要素・保護者や地域との関わりに関する項目についても少なからず相関関係が認められた。

どの項目においてもほとんどが3(できている)あるいは4(できている)までを自己評価していた。また職員別においてもどの項目にも同様の同じレベルで評価する傾向があり、厳しい評価をする者は全ての項目において同様の傾向があった。職員間でのばらつきのある理由としては、能力・資質・経験といったスキルの問題だけでなく、厳しい評価なりの理由として保育援助や業務にかかる基本的な理解と問題意識をもつて的確に自己評価しているかという自己評価能力なども推測される。

日常の保育(調理)業務に追われ、自己を振り返りまた評価して次のステップへと進む時間が確保され、事務や製作また行事準備といったノンコンタクトタイムや適切な休息時間が確保され、今後さらにはマネジメント能力を高めながら仕事をしていく良い循環が生まれるような職場環境を整えることが必要と感じる。また保護者や地域との関わりについても、「face to face」を基本として、コモンシステムを利用した情報発信をしながら、園児の保育園の姿をわかりやすく伝えていくなどの多様なアプローチが必要である。

【課題改善のための方向性】

- ノンコンタクトタイムを適切に取得できる体制をつくるよう努める。
週末のみでなく、平日において取得出来るよう、クラスを超えた協力体制も必要
- 年次有給休暇の適切な取得や昼休憩を適切にとるなどの職場環境就労環境を適切に作り上げること。
- 業務内容の見直し(時には、今までの手順に固執せず業務を効率化できる方法や新しいところみを始めると同時に今までの業務を柔軟に見直すこと(取りやめることも視野に)などを習慣化する)

- コドモンシステムによる情報発信を充実させ、園での子どもたちの様子をわかりやすく伝えていく。写真公開も定期に実施している(毎月)
- 保護者支援の面から、コミュニケーションを深め相互理解と園児理解・保護者理解を深めるため必要に応じて、保護者面談を計画する。

令和5年度吉田保育園自己評価 ～保育士～

評価基準

1:できていない 2:あまりできていない 3:ふつう 4:まあまあできている 5:できている

項目	評価	改善の必要性
【1 モラルに関する項目】	3.7	
【2 園運営への関わり方に関する項目】	3.4	やや有
【3 組織・チームワークに関する項目】	3.4	やや有
【4 子どもの発達援助(保育の方法・内容)に関する項目】	3.5	
【5 発達援助の基本に関する項目】	3.6	
【6 保護者や地域との関わりの項目】	3.7	

※評価は、自己評価の平均値の小数点第二位を四捨五入した数値

令和5年度吉田保育園自己評価
～保育士(パート職員)～

評価基準

1:できていない 2:あまりできていない 3:ふつう 4:まあまあできている 5:できている

項目	評価	改善の必要性
【1 モラルに関する項目】	4.1	
【2 園運営への関わり方に関する項目】	3.3	やや有
【3 組織・チームワークに関する項目】	4.0	
【4 子どもの発達援助(保育の方法・内容)に関する項目】	3.6	
【5 発達援助の基本に関する項目】	3.7	
【6 保護者や地域との関わりの項目】	3.8	

※評価は、自己評価の平均値の小数点第二位を四捨五入した数値

令和5年度吉田保育園自己評価
～調理員～

評価基準

1:できていない 2:あまりできていない 3:ふつう 4:まあまあできている 5:できている

項目	評価	改善の必要性
【1 モラルに関する項目】	4.6	
【2 園運営への関わり方に関する項目】	3.8	
【3 組織・チームワークに関する項目】	4.0	
【4 発達援助に関する項目】	4.1	
【5 調理員の要素に関する項目】	4.2	
【6 保護者や地域との関わりの項目】	3.9	

※評価は、自己評価の平均値の小数点第二位を四捨五入した数値